

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック理論Ⅱ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・前期	時間数	15時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・テキスト新エステティック学理論編Ⅱを用いてエステティックカウンセリングの必要性、流れ、手順を学ぶ。栄養学や運動生理学を復習し、記入の方法を学ぶ。 ・相モデルでカウンセリングを行い、理解を深める。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
第1週	エステティックカウンセラーの役割						
第2週	心のメカニズムと顧客心理(顧客心理のポイント)						
第3週	心のメカニズムと顧客心理(傾聴力と話し方)						
第4週	カウンセリングの流れ(受付対応、ビフォーカウンセリング)						
第5週	カウンセリングの流れ(施術中のカウンセリング、アフターカウンセリング)						
第6週	カウンセリングの手順(フェイシャル)						
第7週	カウンセリングの手順(ボディ)						
第8週	カウンセリング機器について						
第9週	カウンセリング実践(相モデル)						
第10週	カウンセリング実践(相モデル)						
第11週	カウンセリング実践(相モデル)						
第12週	カウンセリング実践(相モデル)※タイムを図る						
第13週	カウンセリング実践(相モデル)※タイムを図る						
第14週	カウンセリング実践(相モデル)※タイムを図る						
第15週	試験対策						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	新エステティック学理論編Ⅱ						
実務経験	株式会社AILEでエステティシャンとして10年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック応用演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・前期	時間数	45時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・使用化粧品の成分と効果を調べ、肌タイプ別に仕分ける。 ・ディープクレンジング、エステティック機器についてテキストエステティック技術編Ⅰを用いて使用目的、手順、禁忌、注意事項を理解したうえで、デモンストレーションを行い、相モデルで実践授業を行う。理解度を図るため、定期的に目的と禁忌事項について小テストを行う。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	決意表明、授業計画、評価の付け方、配布物						
第2週	化粧品成分、効果調べ						
第3週	ディープクレンジング(粒子有り)						
第4週	ディープクレンジング(粒子無し)						
第5週	ディープクレンジング(酵素)						
第6週	ディープクレンジング(吸引)						
第7週	ディープクレンジング(ブラシクレンジング)						
第8週	ディープクレンジング(エレクトロクレンジング)						
第9週	ディープクレンジング選択、小テスト						
第10週	エステティック機器(パター)						
第11週	エステティック機器(イオン導入)						
第12週	エステティック機器(選択)						
第13週	エステティック機器(選択)						
第14週	エステティック機器選択、小テスト						
第15週	前期試験						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	新エステティック学技術編Ⅰ						
実務経験	株式会社AILEでエステティシャンとして10年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	メイクアップ応用演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	杉山 菜月	学年・学期	2年・前期	時間数	60時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・授業は実技演習形式で行う。・IBFのテキストを使用し様々なパターンのメイクアップを行うことでメイクの多様性・奥深さを体感する。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	キュートメイク						
第2週	シャープメイク						
第3週	エレガントメイク						
第4週	フレッシュメイク						
第5週	キュートメイク						
第6週	シャープメイク						
第7週	ポリッシュメイク						
第8週	ウエディングメイク						
第9週	チーム戦メイクコンテスト(チーム分け、フェイシャル画、作戦会議)						
第10週	チーム戦メイクコンテスト本番						
第11週	パーティーメイク						
第12週	浴衣メイク						
第13週	メイク						
第14週	作品まとめ						
第15週	作品まとめ						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	IBFテキスト Part3 variations						
実務経験	株式会社不二ビューティにてエステティシャンとして3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイル応用演習（エステ専攻）	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	【授業概要】 ジェルネイル検定中級合格の為に必要なテクニックと知識を習得する 【授業内容】 ジェル中級のジェルグラデーション、ジェルフレンチ、ジェルイクステンションの実習をハンド・相モデルにて行う						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	テーブルセッティング ネイルケア30分 ジェルオフ・ポリッシュオフ15分（相モデル）						
第2週	ジェルスカルプチュア・グラデーション・フレンチ80分（ハンド）						
第3週	ジェルスカルプチュア・グラデーション・フレンチ70分（相モデル）						
第4週	ネイルケア30分 ポリッシュオフ・ジェルスカ・グラデーション45分（相モデル）						
第5週	ネイルケア30分 ポリッシュオフ・ジェルスカ・フレンチ45分（相モデル）						
第6週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第7週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第8週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第9週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第10週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第11週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第12週	ジェル中級通し練習 第1課題30分第2課題85分（モデル）						
第13週	ジェル中級通し練習 第1課題30分第2課題85分（モデル）						
第14週	ジェル中級通し練習 第1課題30分第2課題85分（モデル）						
第15週	ジェル中級通し練習 第1課題30分第2課題85分（モデル）						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 *評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムジェルネイル ジェルネイル検定道具一式						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	作品製作	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	木村・青木	学年・学期	2年・通年	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	自由な発想とテクニックで、ヘアやメイクでイメージを表現する技術を中心に学び、撮影やショーで「伝える」ための作品を制作する。授業は主に、実技演習形式で行い、絵画、映画、MVなどからインスピレーションを受け、自由な発想とテクニックでヘア、メイクを完成させていく。OBMコレクションに向けて表現する技術を学び、「伝える」ための作品を制作する。同時にグループで作品を制作することで、同じ目標に向かって協力することや協調性を養う。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	メイクアップをデザインする①	第16週	台本完成				
第2週	メイクアップをデザインする②	第17週	会場下見・打合せ				
第3週	ウィッグにデザイン	第18週	音響提出				
第4週	模写メイクデザイン決定	第19週	衣装提出				
第5週	模写メイク撮影①	第20週	プレゼンテーション提出				
第6週	模写メイク撮影②	第21週	プレゼンテーションフィードバック				
第7週	大原美術館研修①	第22週	ウォーキングレッスン①				
第8週	大原美術館研修②	第23週	ウォーキングレッスン②				
第9週	絵画からのインスピレーション①	第24週	通し練習①				
第10週	絵画からのインスピレーション②	第25週	通し練習②				
第11週	絵画からのインスピレーション③	第26週	通し練習③				
第12週	ショー概要	第27週	通し練習④				
第13週	ショーメンバー決め	第28週	打合せ				
第14週	ショーモデル決め	第29週	ショーリハーサル				
第15週	ショーイメージ画	第30週	ショー本番				
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	教員作成プリント、ネイル道具、メイク道具など						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	コンテスト対策	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・前期	時間数	15時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・新エステティック学技術編Ⅰを参照し、ノーマル肌へのトリートメントの技術を復習し動画撮影で客観的に見て技術力の向上。一つ一つの所作に留意し見られている意識で授業を行う。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
第1週	フェイシャルのクレンジング、ふき取りの復習						
第2週	フェイシャルのマッサージ、ふき取りの復習						
第3週	通し						
第4週	1年生モデル決め						
第5週	通し(相モデル)						
第6週	通し(相モデル)						
第7週	通し(相モデル)						
第8週	通し(1年生モデル)						
第9週	通し(1年生モデル)						
第10週	通し(相モデル)						
第11週	通し(相モデル)						
第12週	通し(1年生モデル)						
第13週	通し(1年生モデル)						
第14週	通し(相モデル)						
第15週	通し(相モデル)						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	新エステティック学技術編Ⅰ						
実務経験	村中梨絵：株式会社AILEにてエステティシャンとして10年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	イメージメイクアップ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	2年・通年	時間数	180 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	メイクアップの基礎知識、ベーシックな技術を基に、アイテムの知識をさらに学んでいく。また技術以外にも人間性や感性、センスを磨いていく。授業は主に実技形式で行い、デモンストレーションや講義形式も交え様々なメイクの技術を学んでいく。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	授業内容の説明・ウィッグヘテーマメイク①		第16週	和装メイク①			
第2週	ウィッグヘテーマメイク②		第17週	和装メイク②			
第3週	ウィッグヘテーマメイク③		第18週	和装メイク③			
第4週	年齢別メイク 20～30代		第19週	実技テスト			
第5週	年齢別メイク 40～50代		第20週	洋装ブライダルメイク①			
第6週	年齢別メイク 60～70代		第21週	洋装ブライダルメイク②			
第7週	年齢別メイクまとめ		第22週	洋装ブライダルメイク③			
第8週	実技テスト		第23週	実技テスト			
第9週	年代別メイク 50年代		第24週	ラッピング練習①			
第10週	年代別メイク 60年代		第25週	ラッピング練習②			
第11週	年代別メイク 70年代		第26週	ラッピング練習③			
第12週	年代別メイク 80年代		第27週	卒業制作②			
第13週	年代別メイク 90年代		第28週	卒業制作③			
第14週	年代別メイク まとめ		第29週	卒業制作④			
第15週	実技テスト		第30週	卒業制作⑤			
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	教員作成プリント						
実務経験	ソニーＣＰ パンドーラ3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	メイクアップコミュニケーション	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	木村	学年・学期	2年・通年	時間数	105 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	モデルの個性を生かしつつ、さらに魅力を増す、ショー要素を含むメイク技術を学ぶ。 集大成となるショーのメイクに繋げる。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	光と影を理解する①		第16週	グループワーク①			
第2週	光と影を理解する②実技		第17週	グループワーク②			
第3週	印象分析①		第18週	グループワーク③			
第4週	印象分析②		第19週	発表			
第5週	印象分析③		第20週	フォトコンテスト制作①			
第6週	面取り/セルフ		第21週	フォトコンテスト制作②			
第7週	喜怒哀楽①		第22週	フォトコンテスト制作③			
第8週	喜怒哀楽②		第23週	フォトコンテスト制作④			
第9週	喜怒哀楽③		第24週	コンセプト記入・提出作業			
第10週	コンテスト		第25週	イメージメイク①			
第11週	ボディメイク①		第26週	イメージメイク②			
第12週	ボディメイク②		第27週	イメージメイク③			
第13週	カメラワーク特別講習		第28週	イメージメイク④			
第14週	感情表現、撮影①		第29週	イメージメイク⑤			
第15週	感情表現、撮影②		第30週	撮影			
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	教員が作成したプリント						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ビューティアドバイザー演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	2年・通年	時間数	135 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	前半では、メイクアップアドバイザーとして心がけなければならない「メイク接客のマナー」「サービスマナー」を中心に学んでいく。後半では「メイクアップカウンセリング」。「メイクアップアドバイザー」を中心に相モデルで繰り返し練習をし、様々なパターンを学び、経験していく。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	ビューティアドバイザー概要		第16週	メイクアップアドバイス③			
第2週	メイク接客の心得		第17週	メイクアップアドバイス④			
第3週	メイク接客サービスの流れ		第18週	メイクアップアドバイス⑤			
第4週	メイク接客マナー①		第19週	カルテの作成①			
第5週	メイク接客マナー②		第20週	カルテの作成②			
第6週	メイク接客マナー③		第21週	カルテを活用したアドバイス①			
第7週	メイク接客マナー④		第22週	カルテを活用したアドバイス②			
第8週	メイク接客マナー⑤		第23週	確認テスト			
第9週	メイクアップカウンセリング①		第24週	相モデルで来店～退店までの練習①			
第10週	メイクアップカウンセリング②		第25週	相モデルで来店～退店までの練習②			
第11週	メイクアップカウンセリング③		第26週	相モデルで来店～退店までの練習③			
第12週	メイクアップカウンセリング④		第27週	相モデルで来店～退店までの練習④			
第13週	メイクアップカウンセリング⑤		第28週	相モデルで来店～退店までの練習⑤			
第14週	メイクアップアドバイス①		第29週	まとめ			
第15週	メイクアップアドバイス②		第30週	確認テスト			
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	教員による自作テキスト						
実務経験	ソニーC Pパンドーラ 3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	メイクアップ集中演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	JMAメイクアップ技術検定試験 1級に合格するために、テーマメイク（キュート・フレッシュ・エレガント・クール）を繰り返し練習し、完成度を高めていく。また1級検定内容でもあるカウンセリングとスキンケアもあわせて練習を重ねていく。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	テーマメイク 「キュート」①						
第2週	テーマメイク 「キュート」②						
第3週	テーマメイク 「フレッシュ」①						
第4週	テーマメイク 「フレッシュ」②						
第5週	テーマメイク 「エレガント」①						
第6週	テーマメイク 「エレガント」②						
第7週	テーマメイク 「クール」①						
第8週	テーマメイク 「クール」②						
第9週	まとめ						
第10週	苦手なテーマを練習①						
第11週	苦手なテーマを練習②						
第12週	苦手なテーマを練習③						
第13週	苦手なテーマを練習④						
第14週	模擬試験						
第15週	フィードバック まとめ						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	教員作成プリント						
実務経験	ソニーC P パンドーラ 3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	トラディショナルメイクアップ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	2年・後期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	歴史とともに化粧を照らし合わせながら、女性の美に対する意識や変化を、西洋化粧が一般的に行われるようになる現代までを時代とともに追いながら。学んでいく。授業ではj講義形式を中心に行い、時代背景や和・西洋メイクの歴史を理解し、また時代を代表するテーマメイクを相モデルで行っていく。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	時代年表・化粧の起源						
第2週	魔除けメイク・カムフラージュ メイクについて						
第3週	江戸時代～明治時代まで						
第4週	和装メイク実習（自分で浴衣が着れるようになる）						
第5週	歌舞伎メイクについて						
第6週	大正時代～昭和初期メイクについて						
第7週	ヘップバーンメイク 実習						
第8週	ツイギーメイク 実習						
第9週	昭和50年代～60年代 平成						
第10週	昭和50年代～61年代 平成						
第11週	昭和50年代～62年代 平成						
第12週	昭和50年代～63年代 平成						
第13週	まとめ						
第14週	未来創造 実習①						
第15週	未来創造 実習②						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	教員自作テキスト						
実務経験	ソニーCP パンドーラ 3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ジェルネイル応用演習Ⅱ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	【授業概要】 ジェルネイル検定中級合格の為に必要なテクニックと知識を習得する 【授業内容】 ジェル中級のジェルグラデーション、ジェルフレンチ、ジェルイクステンションの実習をハンド・相モデルにて行う						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	テーブルセッティング ネイルケア30分 ジェルオフ・ポリッシュオフ15分（相モデル）						
第2週	ジェルスカルプチュア・グラデーション・フレンチ80分（ハンド）						
第3週	ジェルスカルプチュア・グラデーション・フレンチ70分（相モデル）						
第4週	ネイルケア30分 ポリッシュオフ・ジェルスカ・グラデーション45分（相モデル）						
第5週	ネイルケア30分 ポリッシュオフ・ジェルスカ・フレンチ45分（相モデル）						
第6週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第7週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第8週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第9週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第10週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第11週	第2課題通し練習85分（相モデル）						
第12週	ジェル中級通し練習 第1課題30分第2課題85分（モデル）						
第13週	ジェル中級通し練習 第1課題30分第2課題85分（モデル）						
第14週	ジェル中級通し練習 第1課題30分第2課題85分（モデル）						
第15週	ジェル中級通し練習 第1課題30分第2課題85分（モデル）						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 *評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムジェルネイル ジェルネイル検定道具一式						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ジェルネイル応用演習Ⅲ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・後期	時間数	105 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	【授業概要】 ジェル検定上級の習得およびジェル検定上級対策 【授業内容】 ジェルスカンプチュア・チップオーバーレイ・フラワーの技術と知識の習得をハンドと相モデルで行う						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	ジェルスカンプチュア・チップオーバー 3種①ハンド実習						
第2週	ジェルスカンプチュア・チップオーバー 3種②ハンド実習						
第3週	ジェルスカンプチュア・チップオーバー 3種③ハンド実習						
第4週	ジェルスカンプチュア・チップオーバー 3種④ハンド実習						
第5週	ジェルスカンプチュア・チップオーバー 3種⑤相モデル実習						
第6週	ジェルスカンプチュア・チップオーバー 3種⑥相モデル実習						
第7週	ジェルスカンプチュア・チップオーバー 3種⑦相モデル実習						
第8週	ジェルネイル検定上級検定要項説明 DVD鑑賞 テーブルセッティング 相モデル実習						
第9週	上級模擬テスト（85分）						
第10週	上級模擬テスト（85分）						
第11週	上級模擬テスト（85分）						
第12週	上級模擬テスト（85分）						
第13週	上級模擬テスト（85分）						
第14週	上級模擬テスト（85分）						
第15週	上級模擬テスト（85分）						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ＊評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム（ジェルネイル） ネイリスト技能検定試験公式問題集 ジェルネイル上級道具一式						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	アクリル基礎演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	毛利佐和子	学年・学期	2年・前期	時間数	150 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	【授業概要】 トップレベルのネイリストとして必要とされるアクリルを使用してのイクステンションの基礎的な技術の習得を目指した授業 【授業内容】 授業はハンドおよび相モデルで実習をおこなう						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	プロダクト説明 テーブルセッティング プロダクトコントロール						
第2週	プロダクトコントロール復習 ハンドのチップの付け方 フォームの付け方 1ボール目実習						
第3週	プロダクトコントロール復習 フォームの付け方復習 アプリケーションと ピンチング						
第4週	ハンド実習 スカルプチュア①						
第5週	ハンド実習 スカルプチュア② チップ&オーバレイ①						
第6週	ハンド実習 スカルプチュア③ チップ&オーバレイ②						
第7週	ハンド実習 スカルプチュア④ チップ&オーバレイ③						
第8週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア①						
第9週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア②						
第10週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア③ 筆記試験対策①						
第11週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア④ 筆記試験対策②						
第12週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア⑤ 筆記試験対策③						
第13週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア⑥ 筆記試験対策④						
第14週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア⑦ 筆記試験対策⑤						
第15週	ハンド実習チップ&オーバレイ スカルプチュア⑧ 筆記試験対策⑥						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムアドバンス ネイリスト技能検定試験公式問題集 アクリルー式						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	アクリル応用演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・後期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	【授業概要】アクリルを使用したイクステンション技術の応用技術の練習 【授業内容】デザインスカルプチュアとオーバル、ポイント、コフィンの作り方など基礎を土台にしてアクリルの応用技術をハンドと相モデルで実習を行う						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	アクリルでの爪の形の作り方① オーバル						
第2週	アクリルでの爪の形の作り方② ポイント						
第3週	アクリルでの爪の形の作り方③ コフィン						
第4週	アクリルでの爪の形の作り方④ ロングネイル						
第5週	アクリルでの爪の修理① アクリルコーティング						
第6週	デザインスカルプチュア①デモンストレーション ハンド実習						
第7週	デザインスカルプチュア②デモンストレーション ハンド実習						
第8週	デザインスカルプチュア③デモンストレーション ハンド実習						
第9週	デザインスカルプチュア④デモンストレーション ハンド実習						
第10週	デザインスカルプチュア応用① ハンド実習						
第11週	デザインスカルプチュア応用② ハンド実習						
第12週	デザインスカルプチュア応用③ ハンド実習						
第13週	デザインスカルプチュア応用④ ハンド実習						
第14週	デザインスカルプチュア応用⑤ ハンド実習						
第15週	デザインスカルプチュア応用⑥ ハンド実習						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ＊評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム アドバンス						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイルサロンワーク	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	毛利 佐和子	学年・学期	2年・後期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	【授業概要】 サロンワークを想定して必要とされるアート技術やマシンの使い方を学ぶ 【授業内容】 ネイルマシンの基本の使い方、ネイルサロンで頻度の高いネイルアートの練習 ネイルカルテの記入およびジェルネイルのフルサービスの実習						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	ネイルマシンデモと実習① ハンド						
第2週	ネイルマシン実習② 相モデル						
第3週	ネイルマシン実習③ 相モデル						
第4週	ネイルマシン実習④ 相モデル						
第5週	ネイルアートデモと実習① ハンドまたはチップ						
第6週	ネイルアートデモと実習② ハンドまたはチップ						
第7週	ネイルアートデモと実習③ ハンドまたはチップ						
第8週	ネイルアートデモと実習④ ハンドまたはチップ						
第9週	サロンネイルアート① 相モデル						
第10週	サロンネイルアート② 相モデル						
第11週	サロンネイルアート③ 相モデル						
第12週	マシンワーク＋サロンワークジェルネイル①ニューセット 相モデル実習						
第13週	マシンワーク＋サロンワークジェルネイル②フィルイン 相モデル実習						
第14週	マシンワーク＋サロンワークジェルネイル③フィルイン 相モデル実習						
第15週	マシンワーク＋サロンワークジェルネイル④オフ＋ニューセット 相モデル実習						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ＊評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイル集中演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	石井貴子（前期）/毛利佐和子（後期）	学年・学期	2年・通年	時間数	75 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	【授業概要】 ネイリスト2級検定の合格を目指し試験内容の各実技に加え、通し練習を行う（前期） ネイリスト1級検定の合格を目指し試験内容の各実技に加え、通し練習を行う（後期） 【授業内容】 試験内容・採点基準の説明、筆記対策の他、ハンド・相モデルでの実技練習（前期） 試験内容・採点基準の説明、筆記対策の他、ハンド・相モデルでの実技練習（後期）						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	シルクラップ練習	第16週	検定1級対策タイムトライアル①				
第2週	チップラップ練習	第17週	検定1級対策タイムトライアル②				
第3週	チップラップ練習	第18週	検定1級対策タイムトライアル③				
第4週	検定要項説明	第19週	検定1級対策タイムトライアル④				
第5週	採点基準説明	第20週	検定1級対策タイムトライアル⑤				
第6週	課題カラーリング練習	第21週	検定1級対策タイムトライアル⑥				
第7週	課題アート練習	第22週	検定1級対策タイムトライアル⑦				
第8週	模擬テスト	第23週	検定1級対策タイムトライアル⑧				
第9週	模擬結果伝達	第24週	検定1級対策タイムトライアル⑨				
第10週	筆記テスト勉強	第25週	検定1級対策タイムトライアル⑩				
第11週	実技相モデル練習	第26週	検定1級対策タイムトライアル⑪				
第12週	実技相モデル練習	第27週	検定1級対策タイムトライアル⑫				
第13週	模擬テスト	第28週	検定1級対策タイムトライアル⑬				
第14週	実技相モデル練習	第29週	検定1級対策タイムトライアル⑭				
第15週	実技相モデル練習	第30週	検定1級対策タイムトライアル⑮				
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステムベーシック・ネイリスト技能検定試験公式問題集（前期） JNAテクニカルシステムアドバンス ネイリスト技能検定試験公式問題集（後期）						
実務経験	サロンワーク経験3年（株式会社 ライフビューティ） 石井貴子：サロンワーク経験12年（有限会社 うるわし）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック理論Ⅲ		学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	宮内 和花子		学年・学期	2年・後期	時間数	30時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	授業概要：解剖生理学・衛生管理・機器学・栄養学 授業内容：講義形式で受講 教科書に沿いながら、内容により実践を含む 卒業後、即戦力となる人材育成を行う エステティックの基本的な知識や技術理論の向上を目指す							
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する							
授業計画・内容								
第1週	解剖生理学（前期の続き） 循環器系			第16週	機器学 エステティック機器の実践			
第2週	消化器系			第17週	機器学総まとめ・問題解説			
第3週	泌尿器系			第18週	栄養学 栄養素の種類			
第4週	生殖器系			第19週	5大栄養素①			
第5週	解剖生理学総まとめ・問題解説			第20週	5大栄養素②			
第6週	衛生管理 消毒の概念			第21週	5大栄養素③			
第7週	サロンでの正しい消毒方法			第22週	食物摂取と消化吸収			
第8週	消毒方法の種類			第23週	健康と栄養・肥満			
第9週	感染症と衛生管理の歴史			第24週	美容と栄養・BMIについて			
第10週	衛生管理総まとめ・問題解説			第25週	サプリメント・食品添加物			
第11週	機器学 電気理論			第26週	栄養学総まとめ・問題解説			
第12週	電流の3大作用			第27週	筆記試験対策①			
第13週	人体と電気			第28週	筆記試験対策①			
第14週	電気信号のメカニズム			第29週	筆記試験対策①			
第15週	エステティック機器の種類と原理			第30週	後期試験			
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ＊評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）							
教科書 教材など	・新エステティック学 全6冊 ・日本エステティック試験センター例題集							
実務経験	美容業界での実務経験8年、講師歴15年以上					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	皮膚科学Ⅱ		学科名	トータルビューティ学科		授業方法	講義	
担当教員	宮内 和花子		学年・学期	2年・前期	時間数	15時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	授業概要：心理生理学（ホメオスタシス）、皮膚科学 授業内容：講義形式で受講 教科書に沿いながら、内容により実践を含む 卒業後、即戦力となる人材育成を行う エステティックの基本的な知識や技術理論の向上を目指す							
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する							
授業計画・内容								
第1週	心理生理学（ホメオスタシス）		ホメオスタシスとは					
第2週			ホメオスタシスと内分泌系との関わり					
第3週			ホメオスタシスと免疫系との関わり					
第4週			ホメオスタシスと神経系との関わり					
第5週		↓	ホメオスタシス総まとめ 筆記試験問題解説					
第6週	皮膚科学（1年次の復習を含む）		皮膚の役割					
第7週			皮膚の構造と仕組み①					
第8週			皮膚の構造と仕組み②					
第9週			皮膚の6つの働き①					
第10週			皮膚の6つの働き②					
第11週			肌トラブルの原因と対処法①					
第12週			年代別、季節別の肌トラブル					
第13週			4肌分類法とその見分け方					
第14週		↓	皮膚科学総まとめ 筆記試験問題解説					
第15週	前期試験							
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）							
教科書 教材など	・新エステティック学 全6冊 ・日本エステティック試験センター例題集							
実務経験	美容業界での実務経験8年、講師歴15年以上					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	解剖生理学Ⅱ		学科名	トータルビューティ学科		授業方法	講義	
担当教員	宮内 和花子		学年・学期	2年・前期	時間数	15時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	授業内容：講義形式で受講 教科書に沿いながら、内容により実践を含む 卒業後、即戦力となる人材育成を行う エステティックの基本的な知識や技術理論の向上を目指す							
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する							
授業計画・内容								
第1週	運動生理学		運動の必要性と効果					
第2週			筋肉について（筋収縮、筋疲労）					
第3週			運動とアンチエイジング					
第4週			運動と代謝					
第5週			運動の実践 姿勢とポジショニング					
第6週		↓	運動生理学総まとめ 筆記試験問題解説					
第7週	解剖生理学 （1年次の復習を含む）		身体の基本・細胞①					
第8週			身体の基本・細胞②					
第9週			骨格系					
第10週			筋系					
第11週			感覚					
第12週			内分泌系					
第13週			呼吸器系					
第14週		↓	呼吸器系までの総まとめ 筆記試験問題解説					
第15週	前期試験							
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）							
教科書 教材など	・新エステティック学 全6冊 ・日本エステティック試験センター例題集							
実務経験	美容業界での実務経験8年、講師歴15年以上				実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	フェイシャルエステティック応用演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・通年	時間数	225時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・フェイシャルエステティックを理解し、コンサルテーションに基づくトリートメントを構成する力を養ない、使用する化粧品、機器を選択できるように実践学習する。 ・授業は主に実習演習形式で、肌状態に合わせたトリートメントを行い、肌の悩みを改善へと導く技術力を養う。また季節や肌状態に合わせたマッサージ技術を習得すると共に、プロとして販売および接客力を養う。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	基本手技通しの練習		第16週	フェイシャルトリートメント(ベーシック)			
第2週	基本手技通しの練習		第17週	フェイシャルトリートメント(ベーシック)			
第3週	基本手技通しの練習、見極めテスト①		第18週	フェイシャルトリートメント(ベーシック)見極めテスト			
第4週	基本手技通しの練習、見極めテスト②		第19週	フェイシャルトリートメント(アロマリンパ)			
第5週	コンサルテーションに基づくトリートメント		第20週	フェイシャルトリートメント(アロマリンパ)			
第6週	コンサルテーションに基づくトリートメント		第21週	フェイシャルトリートメント(アロマリンパ)見極めテスト			
第7週	コンサルテーションに基づくトリートメント		第22週	フェイシャル機器(超音波)			
第8週	校内コンテストの練習		第23週	フェイシャル機器(エクスフォリエーター)			
第9週	校内コンテストの練習		第24週	フェイシャルトリートメント(卵膜パック)			
第10週	校内コンテストの練習		第25週	フェイシャルトリートメント(石膏パック)			
第11週	センター試験対策(口頭試問)		第26週	専攻フェイシャルトリートメント			
第12週	センター試験対策(口頭試問)		第27週	専攻フェイシャルトリートメント			
第13週	センター試験対策(口頭試問)		第28週	来客実習			
第14週	センター試験対策(口頭試問)		第29週	来客実習			
第15週	前期試験		第30週	後期試験			
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊 化粧品成分ガイド第6版						
実務経験	株式会社AILEにてエステティシャンとして10年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ボディエステティック応用演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・通年	時間数	150時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・前期は、DVD、テキスト新エステティック学技術編Ⅰを用いて1年次の復習。 ・解剖生理学を復習し、技術力確認試験に向け口頭試問対策を行う。（小テストにて理解力を確認する。） ・新たに腹部のマッサージ、G5、低周波をデモンストレーションを行い習得する。 ・後期は、応用で筋膜リリース、リンパマッサージ、バンテージを目的・禁忌事項・使用商材を理解した上で、デモンストレーションを行いマニュアルを元に習得する。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	授業計画・評価の方法・マニュアル書き込み		第16週	筋膜リリーストリートメント後面(デモ→相モデル)			
第2週	相モデル授業(前操作・後面)		第17週	筋膜リリーストリートメント前面(デモ→相モデル)			
第3週	相モデル授業(前面)		第18週	筋膜リリーストリートメント(相モデル)			
第4週	相モデル授業(口頭試問対策)		第19週	筋膜リリーストリートメント(相モデル)			
第5週	口頭試問対策小テスト		第20週	リンパマッサージ後面(デモ→相モデル)			
第6週	腹部マッサージ(デモ→相モデル)		第21週	リンパマッサージ前面(デモ→相モデル)			
第7週	腹部含む前面マッサージ		第22週	リンパマッサージ(相モデル)			
第8週	腹部含む前面マッサージ		第23週	リンパマッサージ(相モデル)			
第9週	G5(目的・効果・禁忌、デモ→相モデル)		第24週	バンテージ(デモ→相モデル)			
第10週	G5(相モデル)		第25週	機器、マッサージ選択			
第11週	低周波(目的・効果・禁忌、デモ→相モデル)		第26週	機器、マッサージ選択小テスト			
第12週	低周波(目的・効果・禁忌、デモ→相モデル)		第27週	フットケア			
第13週	技術力確認試験対策(タイム図る)		第28週	WAX脱毛(目的・効果・禁忌、デモ→相モデル)			
第14週	技術力確認試験対策(タイム図る)		第29週	機器、マッサージ選択			
第15週	前期試験		第30週	後期試験			
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ＊評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	新エステティック学技術編Ⅰ、理論編Ⅰ						
実務経験	株式会社AILEでエステティシャンとして10年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック集中演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	村中 梨絵	学年・学期	2年・前期	時間数	30時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	校外で行われるエステティックグランプリの見学。1年次に学んだマナーを元にエステティシャンとしての身だしなみを学び、技術に入る前の段階のレベルアップを図る。エステティシャンとしての意識を持って授業に取り組む姿勢作りを学び、技術力と接客力、知識力を身に付ける。1年次の復習。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	エステティックグランプリ見学						
第2週	夜会巻き講座						
第3週	エステティシャンについて調べる						
第4週	フェイシャルマッサージ、エステティシャンメイク						
第5週	お出迎え～アロマオイルを用いてデコルテマッサージオイルの効果と流れ説明。						
第6週	相モデルで、アロマオイルを用いてデコルテマッサージ						
第7週	ダイエットについての栄養学を学ぶ						
第8週	フェイシャル基本手技の見直						
第9週	フェイシャル基本手技						
第10週	フェイシャル基本手技						
第11週	フェイシャル基本手技						
第12週	フェイシャル基本手技						
第13週	フェイシャル基本手技						
第14週	フェイシャル基本手技						
第15週	フェイシャル基本手技						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 *評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	新エステティック学 技術編						
実務経験	エステサロンAILEにて10年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	アロマテラピー	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	千原亜希	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	選択
授業概要 ・ 授業内容	アロマテラピーの基礎知識を学び、さまざまな精油の香りを楽しむ作用を知る。アロマクラフトの実習を通して生活の中で活用したり仕事で活かしたりできるような経験を積む。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション アロマテラピーの基本						
第2週	精油の4つの性質 植物の部位と精油 精油がもたらす作用 / 実習①：蒸気吸入						
第3週	精油の抽出法						
第4週	アロマテラピーの安全性 / 実習②：アロマスプレー						
第5週	アロマテラピーの実践①						
第6週	アロマテラピーの実践② / 実習③：ロールオン						
第7週	アロマテラピーのメカニズム 精油が心身に伝わるしくみ						
第8週	ビューティー&ヘルスケア① 睡眠 ストレス / 実習④：クレイパック						
第9週	ビューティー&ヘルスケア② 女性ホルモン スキンケア						
第10週	アロマテラピーの歴史① / 実習⑤：ミツロウのクリーム						
第11週	アロマテラピーの歴史②						
第12週	アロマテラピーの歴史③ / 実習⑥：ハンガリーウォーター						
第13週	アロマテラピーに関する法律						
第14週	アロマテラピー検定模擬テスト① / 実習⑦：バスボム						
第15週	アロマテラピー検定模擬テスト②						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	アロマテラピー検定 公式テキスト1級・2級（2019年1月改訂版）、その他実習用副教材						
実務経験	アロマサロン5年間勤務、2020年よりアロマサロン経営				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ヘアスタイリング	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	実習
担当教員	井上祐樹/池田紗良	学年・学期	2年・前期	時間数	30時間	必須・選択	選択
授業概要・ 授業内容	・メイク技術も大切だが、現代における美しい女性像の中にはヘアスタイルとメイクのバランスがとても大切であるという認識が広がっている。 ・授業方法は実技演習を中心に行い、前期ではスタイリングの基礎技術と知識（編み込技術・アイロンの使い方・スタイリング剤の種類など）を勉強し、後期ではウィッグにてオリジナルヘアスタイルの作成を行う。						
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する						
授業計画・内容							
第1週	・基礎技術習得① ・表編み、裏編み、フィッシュボーンなど						
第2週	・基礎技術習得② ・三つ編み込、表編み込、裏編み込						
第3週	・基礎技術習得③ ・片編み込み、表編み込、裏編み込						
第4週	・アイロンの使い方 ・ローラーの巻き方						
第5週	・アイロンやローラーを使用した仕込み技術①						
第6週	・アイロンやローラーを使用した仕込み技術②						
第7週	・編み込みアレンジ① ・編み込みを駆使したハーフアップスタイル①						
第8週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したハーフアップスタイル②						
第9週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したアップスタイル①						
第10週	・編み込みアレンジ② ・各編み込を駆使したアップスタイル②						
第11週	・編み込み等のほぐし方やバランスの見極め ・学生の感性を磨く						
第12週	・アイロンやローラー技術の復習						
第13週	・編み込みを使ったヘアスタイル ・前期試験に向けてのヘアスタイル①						
第14週	・編み込みを使ったヘアスタイル ・前期試験に向けてのヘアスタイル②						
第15週	・前期試験（編み込み技術を駆使したスタイル） ・テーマは「自由」 試験時間は40分						
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	・プロジェクター（パワーポイント使用） ・出版社： 新美容出版等（美容雑誌）。 書名：#かねこアレンジ／SHINBIYO等の美容雑誌						
実務経験	井上祐樹：美容師歴6年 池田紗良：美容師歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	P O P		学科名	トータルビューティ			必須・選択	必須選択
担当教員	岩崎 孝子		学年・学期	2年・後期	時間数	30 時間	授業方法	講義
授業概要 ・ 授業内容	・お店に役立つ人材としてPOPを描ける事も必要であり、そのためにフェルトペン（油性マーカー・水性マーカー）を使用し、プライスカード、ショーカード、イラストなど作成にバランス、センス、スピード良く描けるように学ぶ授業である。 ・授業は講義形式で講師作成プリントや資料を参考に授業を進め、丸カラーペンの使用方法の基礎から応用までを教え、実際に学生一人ひとりに作成させ成長度を確認し学習していく。							
到達目標	①正しくメールの返信が出来、お礼状が書ける。 ②林先生の講話で将来の目指すエステティシャンに大切なマインドを学ぶ。 ③スタログを活用し提出物の期日を守り提出できるようにする。 ④キャリアプランをたて目標を持って就職する							
授業計画・内容								
第1週	POPについて、丸マーカーの基礎							
第2週	丸マーカー 数字							
第3週	〃 カタカナ、英文字							
第4週	〃 ひらがな、漢字							
第5週	イラストレーション							
第6週	平面から立体							
第7週	丸マーカー 名前							
第8週	角マーカー 数字、カタカナ							
第9週	〃 英文字、色彩							
第10週	〃 ひらがな							
第11週	〃 漢字							
第12週	イリュージョン							
第13週	ぬり絵制作							
第14週	プライスカード、ショーカード							
第15週	各々1枚に仕上げる							
評価方法	・学期末試験を実施し、POPの作成能力度、成長度や提出物、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 *評価目安：POPの作成能力度（55％）・成長度や提出物（25％）・授業態度や出席（20％）							
教科書 教材など	POP広告クリエイター技能試験ガイド POPレタリング&デザイン①②③ 実戦POPハンドブック カラーマーカー							
実務経験	デザイン会社勤務、カルチャースクール講師					実務経験のある教員による 授業科目		✓